

前回（23.7.13 第5回委員会）の委員意見等への対応状況

委員	意見等（要旨）	対応状況
千葉委員	<p>震災前に沿岸部を回ったとき、水産施設のハサップ導入状況について地域差を実感した。震災でほとんどが被災したと思うが、これまでの対策と違いはあるか。</p>	<p>被災した水産加工場等は、復旧事業の導入により震災前より衛生的な施設に転換している。</p> <p>被災した水産加工事業者は、震災を契機に、よりレベルの高い衛生・品質管理を目指す意識が高まっている。</p> <p>これらのことを踏まえ、今年度新たに水産加工事業者向けのHACCP講習会を各地で開催し、HACCP導入を促進している。〔8月27日（陸前高田市）、9月19日（釜石市）、2月予定（大船渡市）〕</p> <p>今後は、地域全体を漁獲から流通（魚市場）、加工まで一貫した高度衛生・品質管理体制に誘導し、安全安心なサプライチェーンの構築を図っていく考えである。</p> <p style="text-align: right;">【水産振興課】</p>
板井委員	<p>食育推進計画において、虫歯関連の取組については、生活習慣に関わる取組を積極的に実施すべきでないか。</p>	<p>ご指摘の生活習慣に関わる取組は食育推進にとって非常に重要であると認識しているので、計画の見直しの際には具体的な取組として計画に掲載するよう検討する。なお、生活習慣に関わる取組は、県のイー歯トープ8020運動推進事業として歯磨き教室などの事業を現在も行っている。</p> <p style="text-align: right;">【健康国保課】</p>
若生委員 菅原委員長	<p>高校生については、コンビニ等の影響によりあまりに食に関心がない現状。食育推進計画の指標値においても、中小学校に比べてまだまだ低位。指導を強化できるよう工夫願いたい。</p>	<p>高等学校における食育を推進させるため、引き続き、管理職、教諭を対象とした食育推進研修会を開催する。また、食育に関する調査結果を各学校に知らせるとともに、モデル的な実践事例を紹介することで高校全体の食育の推進に向けた気運を高めていく。</p> <p>高校生の健康教育について研究している関係機関（学校保健会高等学校部会等）に働きかけ、高等学校における食育の推進方法等について探る。</p> <p>また、肥満等の指導（全体指導、個別指導に関わらず）については、組織的に、年間を通じて必ず複数回行うよう通知するなど働きかけを行いたい。</p> <p style="text-align: right;">【スポーツ健康課】</p>
早川委員	<p>肥満だけでなく、細すぎる男女高校生に対する指導も必要。</p>	<p>高等学校における食育等の推進の働きかけにおいては、肥満のみならず、るい瘦の指導を含めて働きかけていく。</p> <p style="text-align: right;">【スポーツ健康課】</p>